

(2号様式)

20 症例一覧

上部構造装着日が古いものから順に記載してください。1号様式の30症例と被る症例でも構いません。

Excel形式のファイル(2号の2様式)をお使いいただくことも可能です。

※ 治療内容分類記号：左2桁:欠損歯数、3桁目:上(U)下(L)、4桁目:通常(N)骨増生(G)、5桁目:抜歯即時埋入(S)

No	患者 イニシャル	年 齢	性 別	初診日	欠損部位	埋入手術 担当者	上部構造 担当者	治療内容分 類記号入力 (※)	パノラマックス線 術前撮影日 (6ヶ月以内)	上部構造 装着日	パノラマックス線 術後撮影日	経過およ び予後	3号様式で詳細を 報告する症例に○ をつけてください
例	Y.A.	55	男	2018.4.10	67┘	高橋 哲	塩田 真	02UG	2018.5.10	2019.6.8	2020.9.1	良好	○
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													

＜罫線の入力方法＞
WordファイルもしくはExcelファイルで『けいせん(罫線)』と入力して変換すると、記号「┘┙」などが出てきます

＜同一患者に複数のインプラントを埋入した場合の症例数＞
・上顎と下顎は2症例として記載可
・同顎の右側と左側の場合は
同時期に治療を行った場合は1症例
別の時期に治療を行った場合は2症例

＜治療を行った時期が異なる場合＞
「最終補綴装着日」が同一日付の場合は、1症例

＜記載の順番＞
A) 最終補綴装置の装着日が古い順
または、
B) 同一患者の症例を含む場合は
①：同一患者で欠損部位が多い症例
②：①の中で上顎→下顎 順
③：補綴装置装着の古い順

(2号様式)



【その他注意事項】

申請前の5年間に、インプラント埋入から最終補綴装置装着までを終え、装着後1年以上経過していること
インプラント埋入直前及び最終補綴装置装着後のパノラマエックス線写真は、CTデータを用いた同様の画像でも可
欠損部位はインプラント治療部位の歯式を記入すること
歯式記号は「罫線(けいせん)」として入力して変換する
上顎と下顎は同一患者でも別症例として記載すること